

子曰く、学びて時に之を習う。亦説またよろこばしからずや。

ともあ けんぼう きた またたの
朋有り、遠方より来る。亦樂またくんししからずや。

ひとし ひか
人知らずして慍いらず、亦君子ならずや。

【大体の意味内容】

先生はおつしやった、「様々な先輩たちの教おしえを学び、まねをして、そしてたえず復習ふくしゅうして熟達じゅくたつするようにする。

(今まで浮かぶこともできなかったものが泳およげるようになったようなものなのだから)な
んと喜よろこばしいことではないか。

自分じぶんと同じ 志し を持つ者ものを朋ともと言いって、単たんなる「知しり合あい」とか「仲良なかよし」とは区別くべつする。

そのまだ会あったこともない朋ともが、遠とおいところから旅たびをしているところに偶然ぐうぜん出あ会あう。そう

して、互たがいの持もっている知恵ちえや教養きょうようを交換こうかんし合あう機き会かいに恵めぐまれる、何なんと楽たのしいことではな

いか。(そのような偶然ぐうぜんは、実じつは偶然ぐうぜんではなく、強つよい 志し を持もっていれば、いずれ必かなず巡めぐ

り合あうべくして巡めぐり合あえるのだ。)

自分じぶんの努力どりよくや達成たっせいできたことについて他人たにんが知しらなくても、ほめてくれなくても決けつして怒おこ

つたり不平ふへい不満ふまんを抱いだいたりしない。(自分じぶんの行おこないが誰だれかの役やくに立たったり、誰だれかを助たすけるこ

とにつながりさえすればそれが自分じぶんにとっても喜よろこびなのだから。)

そのような人ひとこそ誠まことに理想りそうの人格者じんかくしやではないか。」

「学修塾ダンテリオン」の『学修』の意味がぎゅっと、濃く述べられています。

大事なことは、自分が出会った様々な人や、本などの媒体メディアから与えられたものを、まずは虚心坦懐きみこんたんかいに味わってみることなのでしょう。

現代はインターネットという通信手段を通じて、世界中の人と出会えるチャンスが広がっています。あまり幸福とは言えない事件・事例も多発していますが、中には素晴らしい出会いが起きるのも事実です。

いわゆる「友だち」と、「朋とも」とを区別してみるのも面白い着眼てきがんですね。

身近にいて助け合えたり、喜び合えたりする「友だち」はとてもいいものです。

それとは別に、まだめぐりあっていなかったり、あるいはなかなか会えないけれども、

志を同じくしている「魂の友人」とでもいうべき存在を「朋とも」という。これもなかなか得

難い存在ですが、自分の志を大事にして真摯しんしに生きていると、確かに出会おうべくして出会うものだなあと、五十年以上生きている過程のいろんなステージで実感します。

百歳以上まで働きまわろう、と決めたのも、そんな出会いが楽しみだからです。もちろん生きていられればの話ですが。